

【お知らせ】

R20TS0155JJ0100

Rev.1.00

2017.04.16 号

ARM® Cortex®-A7 内蔵「R-Car D1」と「RH850 ファミリ」用 高性能オンチップデバッグエミュレータ E2 のご紹介

概要

E2 エミュレータは、2017 年 2 月にリリースしました「開発効率の向上」をコンセプトとした高性能オンチップデバッグエミュレータ兼フラッシュプログラマです。

ARM®Cortex®-A7 内蔵 3D グラフィクス・クラスタに特化した車載用 SoC「R-Car D1」および 2D グラフィクス・クラスタ向け車載用マイコン「RH850/D1M」および「RH850/D1L」（いずれも RH850 コア）をサポートしています。

1. 「R-Car D1」と「RH850 ファミリ」の混在システムを効率よくデバッグ

近年、ゲージ制御^(注1)が必要なハイエンドクラスのシステムにおいては「R-Car D1」と「RH850 ファミリ」の混在システムが増えてきております。両方のデバイスを効率よくデバッグすることができる E2 エミュレータを、ぜひ、ご利用ください。

また、Green Hills Software 社製 統合開発環境 MULTI®^(注2)も「R-Car D1」および「RH850 ファミリ^(注3)」の両方をサポートしていますので、E2 エミュレータと組み合わせてご利用いただくことにより、同一環境でのデバッグが可能になります。

製品の詳細は、以下の URL をご参照ください。

<https://www.renesas.com/e2>



注 1：走行速度や回転数等の数値を、メータなどで視覚的にわかりやすく制御します。

注 2：Green Hills Software 社製品の詳細は、以下の URL をご参照ください。

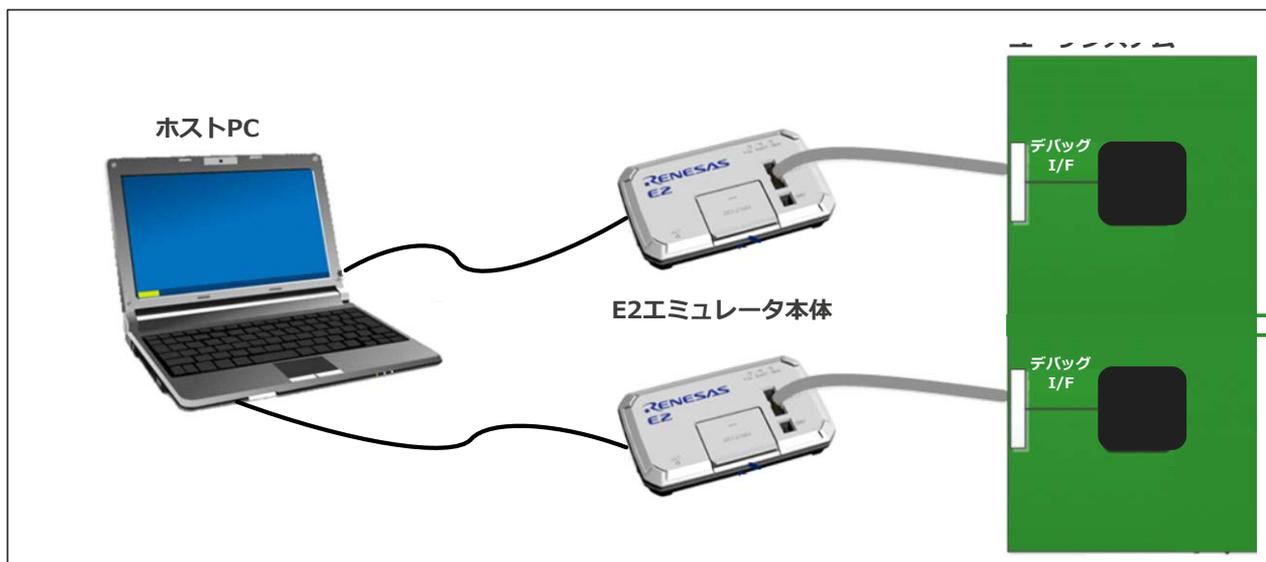
<http://www.adac.co.jp/>

注 3：RH850 ファミリは、ルネサス製 統合開発環境 CS+も対応しています。

2. 「R-Car D1」と「RH850 ファミリ」の組み合わせデバッグについて

2.1 2 台の E2 エミュレータでデバッグ

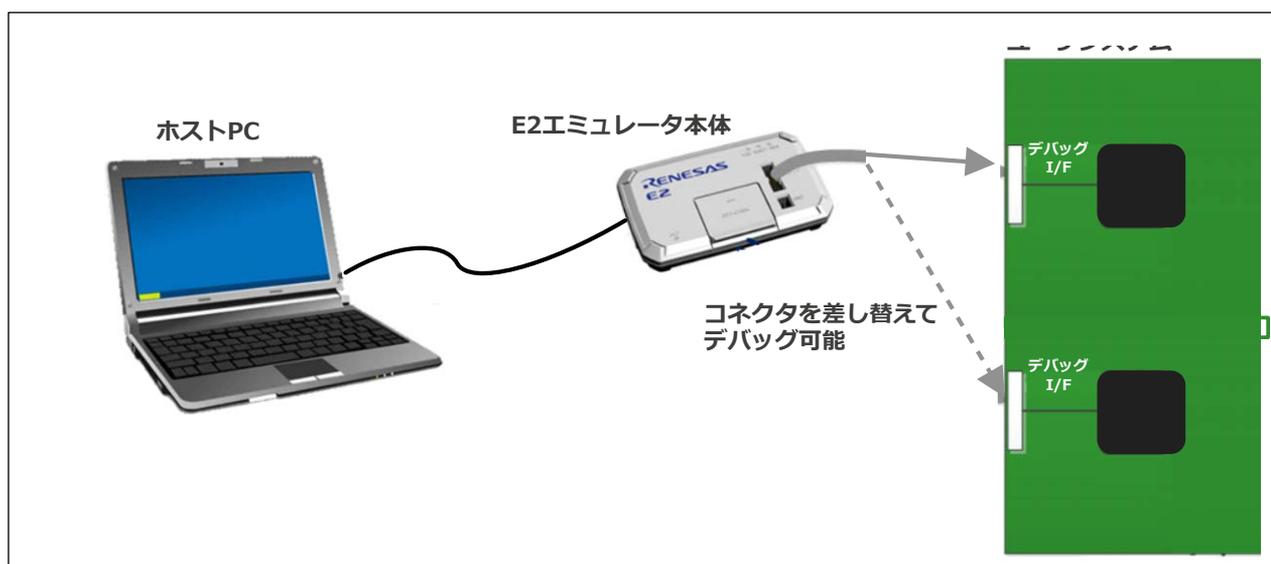
1 台のホスト PC で R-Car D1 用の E2 エミュレータと RH850 ファミリ用の E2 エミュレータを使用して、同じ開発環境 (Green Hills Software 社製統合環境 MULTI®) でデバッグすることができます。



2.2 1 台の E2 エミュレータで個別にデバッグ

1 台の E2 エミュレータでデバッグフェーズに合わせたデバイス毎のデバッグが可能^(注) ですので、エミュレータへの投資コストを抑えることができます。

注：コネクタの差し替えが必要です。



R-Car D1 のデバッグは、Green Hills Software 社製統合環境 MULTI[®]となります。RH850 ファミリのデバッグは、当社製の統合開発環境 CS+ (V5.00 以降)との組み合わせも可能です。

3. 購入方法

ご注文の際には、以下の情報を最寄りの弊社営業または特約店までご連絡ください。

価格についても同様にお問い合わせください。

製品型名	受注型名
RTE0T00020KCE00000R	同左

以上

改訂記録

	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	2017.04.16	-	新規発行

ルネサスエレクトロニクス株式会社
 〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

■総合お問い合わせ先
<https://www.renesas.com/contact/>

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したものです。誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。